

シリーズ

“キラリ企業”

の現場から 第86回

当社の支援サービスをご利用いただいている元気企業を紹介する“キラリ企業”の現場から。第86回目はペット用避難グッズの製造販売を手掛けるサイデリアル有限会社(目黒区下目黒)をご紹介します。同社には、「知財相談」、「ニューマーケット開拓支援事業」(注1)、公社主催展示会「ライフサポートフェア」(注2)への出展など幅広く公社事業をご利用いただいています。代表の岡聖記氏にお話を伺いました。

ペット用避難グッズのオンリーワン企業!

サイデリアル有限会社

被災経験から起業まで

約2,128万頭。現在、日本において飼育されている犬と猫の頭数である。これは15歳未満の子供の人口、約1,665万人を3割近く上回る。まさにペット大国といえる数字であり、「ペットは家族の一員」という時代となった。一方、日本はペット大国であると同時に地震大国ともいわれる。東日本大震災を受けて私たちの防災意識は高まりをみせている。防災用品を揃えたり非常食の備蓄を強化した個人宅も多いのではないかと。しかしながら、これが対ペットとなると個人宅はもちろん、自治体における避難所の受け入れ態勢においても万全とはいえないのが現状である。

サイデリアル有限会社は平成17年創業、ペット用の避難グッズが主力製品である。ペット自身が避難グッズを装着する避難ジャケットやライフバッグなど他社にはないオンリーワン製品が目につく。



避難ジャケット



普段はレインコートとして

平成7年、会社員として大阪に居た岡社長は阪神大震災で被災した。当時、人間用の防災用品さえ十分に準備していなかった岡社長であるが、ペット用の避難グッズがまるでないことに疑問を感じていた。平成16年の中越地震の際はペット避難の実態を把握すべく現地に出向き、獣医師のサポートとして被災者のペットの一時預かりを手伝っていた。その際、飼い主と離れて暮らす不安や余震のストレスから奇声をあげた

り泣きわめいたりする犬や猫を目の当たりにした。

飼い主とペットが安心して一緒に避難はできないものか。ペットを愛する親心と、ペット用避難グッズのニーズを感じた岡社長は翌17年に独立。「災害時に愛犬・愛猫と飼い主と一緒に助かる」ことを起業信念として、デザイナーを務める夫人の理絵子氏とともにペット用避難グッズを開発、「おやごころ」シリーズとして販売を開始した。

起業の想いを形にした製品開発

避難ジャケットやライフバッグをみると、細部にわたるアイデアや工夫に驚かされる。例えば、避難ジャケットに収納されたリードは装着の仕方をかえれば輪になり、ペットを飼い主の首から吊り下げることができる。ペットが負傷した際、とっさの時に飼い主の両手が使えるようになるわけだ。また、ジャケットは広げて使用すれば担架となる。その際、裏面の引き出し布を用いることで頭部や胸部を支え、ペットを安心して運搬できるようにした。さらに、猫を運ぶときに役立つライフバッグは厚すぎず薄すぎず、猫が眠る際のクッションの厚みを確保しつつ、抱っこした際には飼い主の肌が当たって安心感を与えるよう計算されている。



首から吊るせるほか、担架としても使用できる



なぜこのような工夫がされているのか。岡社長によると、「独立と同時に愛玩動物救命士(注3)の資格を取得し、動物の身体に関する知識や応急処置の仕方などの理解を深めたことが製品開発に役立っている。また、災害時、人もペッ

トも無事なのか。あるいはペットが負傷してしまっているのか。外傷以外に精神的なストレスはないか。あらゆる状況を考え、すべての状況においてペットと飼い主と一緒に助かるために必要な機能は何かを考えて製品化している。」とのこと。まさに、起業時に抱いた社長の想いがそのまま製品の形となって表れているのである。

公社事業の積極的な活用

現在、多くの公社事業を活用している同社であるが、公社との接点は平成18年に知的財産総合センターに来社されたことに始まる。オンリーワン製品を扱う同社にとって知的財産の活用は必要不可欠である。今日まで30回以上知財センターを訪れ、「おやごころ」シリーズの商標登録や避難ジャケットの担架機能で特許を取得することにつながった。

「ニューマーケット開拓支援事業」では、メーカー等のOBであるビジネスナビゲータ(以下:BN)が取引先をマッチングしていく。製品には自信があった同社だが限られた人員のなかで販路開拓を進めていくことは容易ではない。BNの高田氏曰く「当社はオンリーワン製品を扱っており、商談相手も話をきいてくれやすい。マッチングしてしまえば、あとは岡社長の魅力的な人柄が全て。製品やペットに対する熱い想いを聴き、彼を嫌う人はまずいない。顧客の要望も真摯に聞き入れ、製品改良や特注品につなげている」。これまで、通販業者やペットショップ、盲導犬の協会等に対し、「おやごころ」シリーズを納入するなど実績もあがっている。

公社ビジネスナビゲータの提案で 新製品を開発

避難ジャケットやライフバッグの売上が順調に推移するなか、現在注力する新製品が、「ペット用円形2階建て簡易ケージ」である。これは、災害時に避難受け入れ先にて容易に組立てられ、犬や猫を緊急に収容・保育できる優れたもので、自治体のペット受け入れ態勢の強化に役立つ。BNが自治体のニーズをくみ取り岡社長に提案。自治体の要望と岡社長の持ち前のアイデアを融合し製品化した。円形2階建てにしたことで、多くのペットを一度に収容できる。また、中の仕切りを外すことで大型犬への対応を可能にするなど工夫をこらした。



新製品の円形簡易ケージ

同製品は、平成23年度の東京都トライアル発注認定制度(注4)において認定製品となった。都の認定を受けたことで、今後、他の自治体やマンションディベロッパーなどへの販売が期待される。現在、BNと共に積極的に販路開拓を進めている。

ペット同行避難の100%達成を目指して

さらに社会的な追い風がでてきた。平成25年6月に環境省の指針である「災害時におけるペットの救護対策ガイドラ

イン」が示された。そのなかで飼い主に対しては、「災害時、ペットと同行避難することが原則」であることが明記され、ペット用の避難用品を準備することとしている。一方、自治体に対しては、平成25年9月1日に施行された改正動物愛護管理法に基づき、避難所や仮設住宅へのペット受け入れの配慮を求めている。まさに時代が同社の製品を必要としているのだ。飼い主にはペット用避難グッズ、避難所である自治体には円形簡易ケージと、双方に対応できる製品を持つ同社が担う役割は今後ますます大きくなるだろう。

「万が一の際、飼い主が気負うことなく、100%、安心して避難所にペットを連れて行ける環境をつくりたい。これは放置による野良犬・野良猫の増加、繁殖などの二次被害の対策にもなる。ペットを飼う人はもちろん、ペットを飼わない人にもメリットは大きいですから。」岡社長は力強く語ってくれた。災害時、飼い主と共に1匹でも多くのペットが助かるために、同社のさらなる飛躍に期待したい。



岡社長(右)とBNの高田氏

(企画課 中野洋平)

- (注1)ニューマーケット開拓支援事業
メーカーや商社出身の営業系・技術系の専門家約60名の「ビジネスナビゲータ」が中小企業の優秀な製品・高度な技術力を商社・メーカー等に積極的に紹介することで新たな販路先の開拓を支援する事業。
- (注2)ライフサポートフェア
都内中小企業の販路開拓を支援するため、公社が主催する展示商談会。本年度は平成26年2月13・14日に産業貿易センター浜松町館で開催される。
- (注3)愛玩動物救命士
(一社)全日本動物専門教育協会が認定する、ペットの健康と安全に関する基本的な知識を身につけるための資格。
- (注4)東京都トライアル発注認定制度
都内中小企業の新規性の高い優れた新商品等の普及を支援するため、都が認定してPRを行うとともに、一部を試験的に購入し評価する制度。
- ※1 ペット数 約2,128万頭
(平成24年度 一般社団法人ペットフード協会 全国犬猫飼育実態調査)
- ※2 15歳未満の子供の人口 約1,665万人 (平成24年度 総務省統計局 人口推計)

企業名:サイデリアル株式会社
 代表者:岡 聖記(敬称略)
 資本金:100万円 従業員数:2名
 本社所在地:東京都目黒区下目黒2-23-1-7F
 TEL:03-3493-6747
 FAX:03-3493-6747
 URL:http://oya-gokoro.com